

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立富洲原小学校

校長 松野 高彦

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 様々な教育活動において、保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1)地域の教育力を生かした特色ある教育活動

① 図書館ボランティアによる取組

『図書館ボランティア』として保護者・地域の皆様に登録していただき、管理・整備グループ、飾り付けグループ、読み聞かせグループの3つのグループに分かれ、子どもたちの読書活動の充実のために取り組んでいただいています。

各学期の読書週間の取組や新刊や学習にかかわる本の展示等子どもたちが図書に興味を持つような図書館環境づくり、読み聞かせ等を行っていただきました。

② 地域の方によるゲストティーチャー「5～6年生理科・書写」「6年生人権学習」

地域在住の理科教育の専門家の先生に来ていただき、5・6年生において、理科担当と協働した授業をしていただきました。同様に、書家の方に毛筆指導をしていただきました。

また、冠婚葬祭に関わる地域の方から6年生が話を聴き、人権意識を高める取組を行いました。

③ 地域に学ぶ

地区消防団の方から、消防活動について学ぶ機会を3～4年生が持つことができました。

さらに4年生は、防災学習として、地域のために活動されているみなさんの様子を学習したり、地区自主防災隊と毛布を使った簡易担架の作り方や非常食の炊き出しなどを体験する合同訓練を行っていますが、今年度は中止となりました。

(2)地域団体との連携 地域行事への積極的な参加

① 地区見守り隊等による登下校の安全確保

保護者の旗当番、地区見守り隊、民生児童委員さんたちによる登下校の安全指導等、子どもたちの見守りや安全指導を行っていただきました。

毎年、子どもたちが楽しみにしている地域の行事や、祭り、地区の垣根を越えて行われている「とみすはら大運動会」など、昨年度に続き多くの地域行事が中止となってしまいました。

地域の行事が開催できるようになったら、子どもたちに行事参加を積極的に呼びかけていきます。

(2)富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)としての取り組み

富洲原中学校区では小中学校が連携して「富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)」を運営しています。愛称の「三錨」は、富洲原の三地区を3つの錨で表し、それぞれの地区がしっかりと組んでよりよい地域を築いていくことの象徴で、富洲原小学校と中学校の校章のモチーフでもあります。富洲原中学校区コミュニティスクールを通じて、地域・家庭・小中学校が一体となった学校づくりにさらに取り組んでいきます。

① 学校創立記念式典

毎年6年生児童・職員・PTA役員が参加して「創立記念式典」を行っています。地域の学校に寄せる「願い」や、卒業生(三錨会会員)の「思い」が脈々と受け継がれている、富洲原小学校ならではの取り組みです。今年度は、コロナウイルス感染症に対応するため、縮小開催としました。

② 富洲原保育園・富洲原幼稚園との交流

保・幼・小合同で、津波避難階段を使って小学校の屋上に避難する「避難訓練」を行いました。毎年、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児の皆さんに来ていただき開催している交流会は、今年度は中止となりました。

毎年、本校全児童に加え、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児、そして富洲原中学校3年生の皆さんに来ていただき、伝統ある建物の「講堂」で行っている音楽集会は、昨年に続き中止となりました。

(3)コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

今年度も、地域の方のご協力を得て、理科や書写、人権学習、学校の環境整備等の充実

を図ることができました。計画していた行事の多くが、感染症拡大防止のため残念ながら中止となりましたが、今後も地域との関わりを深め、地域とともにある学校という認識を深める取り組みを進めていきます。

また、「四日市版コミュニティスクール」委託の6年目、富洲原中学校区コミュニティスクールとして発足して4年目となり、家庭・小中学校が一体となった学校づくりを推進してきました。年間4回のコミュニティスクール運営協議会は小中学校合同で開催し、運営協議会とあわせて、小・中学校それぞれの様子や様々な角度からご意見をいただき、教育活動に反映することができました。

保護者や地域の方々に子どもたちの様子を見ていただいたり、直接言葉をかけていただいたりすることで、学校や子どもたち自身が様々な方に認められていることを実感でき「地域に学び、地域を愛す」気持ちを高めることにつながりました。

3 今後に向けて

今後も四日市版コミュニティスクール推進に向けて、取組を検討し様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。

コミュニティスクール推進のために、保護者の皆様だけでなく地域の方々にも様々な情報を適切に発信していく必要があります。今後も学校だより等の各種たよりの発行や、学校ホームページでの情報発信を通して、地域に積極的に情報発信をしていきます。そして、学校・地域・保護者・各校園がさらに連携を深め、「地域に学び、地域を愛し、地域の未来を創造する子ども」という目指す児童像に向かって、取り組んでいきたいと考えています。